

取締役会の概要 (2023年6月15日現在)

取締役会による確かつ迅速な意思決定が可能な員数および取締役会全体としての知識・経験・能力のバランスおよびジェンダーや国際性、職歴、年齢の面を含む多様性を考慮し、性別、年齢、人種、国籍などを問わず適材適所の観点より、総合的に検討したうえで、指名・報酬委員会の答申を参照しつつ、取締役候補者を指名しています。また、当社取締役会が備えるべきスキルセットを開示しています。

| 氏名 | 期待する分野 | | | | | | | | |
|--------------------|---------------|--------------|----------------|-------------|------------|---------|----------|---------------|---------------|
| | 独立性 (社外のみ) | 企業経営 経営戦略 | 財務 会計 税務 | 自社事業 の知見 | 国際 ビジネス | イノベーション | 製造 技術 | リスク マネジメント | 内部統制 ガバナンス |
| あおき たけし 青木 武志 | | ● | | ● | ● | ● | | | ● |
| いくた まさひこ 生田 斉彦 | | ● | ● | ● | | | | ● | ● |
| かわしま こうじ 河島 浩二 | | ● | | ● | ● | | ● | | |
| すずき あゆみ 鈴木 歩 | | | | ● | | | ● | ● | ● |
| やまぐち ちあき 山口 千秋 | ● | ● | ● | | ● | | | ● | ● |
| みた としお 三田 敏雄 | ● | ● | | | | | | ● | ● |
| あさい のりこ 浅井 紀子 | ● | ● | | | | ● | | ● | |
| くわやま よういち 桑山 洋一 | | | | ● | ● | | | ● | ● |
| まつばやし こうじ 松林 浩司 | | | ● | | | | | ● | ● |
| かとう ふみお 加藤 文夫 | ● | | ● | | | | | | ● |
| ほりえ まさき 堀江 正樹 | ● | | ● | | | | | | ● |
| やぶ ゆきこ 藪 ゆき子 | ● | | | | | ● | | ● | ● |

※上記スコアは、取締役候補者および監査等委員の有するすべての知見を表すものではなく、取締役会に必要なスキルセットの中で特に期待する分野を記載しています。

当社取締役会が備えるべきスキルセット

| 必要とするスキル | 理由 |
|----------------|--|
| 企業経営/ 経営戦略 | 激しい事業環境変化と不確実性の中で、重要な経営判断を行うために必要な国内外の企業経営・組織運営責任者としての豊富な知識・経験・能力が求められます。 |
| 財務/会計/ 税務 | ICパッケージ基板事業を主力とする製造業である当社においては、継続的な設備投資とそれを支える機動的かつコスト面で優れた資金調達が必要不可欠です。併せて、リスクに備えた健全で強固な財務体質の構築が必要です。これらが最適なバランスで実現され、かつ、財務・税務コンプライアンスが担保された状態を監視・監督するための財務/会計/税務に関する専門的かつ高度な知識が求められます。 |
| 自社事業の知見 | 事業方針をはじめとした高度な事業経営判断およびモニタリング型の取締役会において求められる事業部門の業務執行の適切な管理・監督を実現するためには、自社事業に関する深い知見が求められます。 |
| 国際ビジネス | 主力顧客が海外かつグローバルに生産・販売拠点を展開している当社において、市場・顧客動向に加えて、地政学リスクを含むカントリーリスクを踏まえた経営判断を可能とするスキルとしての国際ビジネス経験が求められます。 |
| イノベーション | 技術開発型企業である当社の企業理念「革新的な技術で、豊かな社会の発展に貢献します。」を実現するには、社会課題や顧客のニーズを正しく認識し、それらの解決に向け、自社固有の技術だけでなく、外部とも連携する中でイノベーションの創出が必要となります。これらの活動を適切に監視・監督できるイノベーションに関する深い知見が求められます。 |
| 製造/技術 | 最先端のICパッケージ基板および高度なセラミック部材を中心としたモノづくり企業である当社がグローバルな競争環境を勝ち抜くには、自社の生産設備・製造プロセスにおける卓越した競争力の構築が必要となります。これらの活動を適切に監視・監督できる製造/技術に関する深い知見が求められます。 |
| リスク マネジメント | 中長期の持続的な企業価値の向上を実現するには、外部環境の変化を敏感に察知し、適切なリスクの把握と対処が求められます。これらを可能にするためのリスクに対する感度の高さと迅速・果敢な経営判断を可能にするリスクマネジメントのスキルが求められます。 |
| 内部統制/ ガバナンス | 株主をはじめとするステークホルダーからの信頼に応える企業統治体制と公正・透明な意思決定プロセスを構築・監視・監督するため、内部統制/ガバナンスに関する高度な知見と高い遵法意識が求められます。 |

社外取締役の選任理由などガバナンス体制の詳細は、コーポレート・ガバナンス報告書をご確認ください。
<https://www.ibiden.co.jp/ir/library/governance/>



● 社内取締役 ● 社外取締役 ● 議長/委員長

| 性別 ● 男性 ● 女性 | 各委員会および会議体の構成員ならびに出席状況 | | | | | |
|--------------------|------------------------|----------|------------------------------|----------|----------------------|---------------------|
| | 取締役会 | 監査等委員会 | 指名・報酬 委員会 ^(※2) | 経営会議 | リスクマネジメント 全社推進委員会 | コンプライアンス 全社推進委員会 |
| ● | ● 11/11回 | | 7/7回 | 12/12回 | ● 1/1回 | ● 1/1回 |
| ● | 11/11回 | | | ● 12/12回 | 1/1回 | 1/1回 |
| ● | 9/9回 ^(※1) | | | 12/12回 | 1/1回 | 1/1回 |
| ● | — | | | — | 1/1回 | 1/1回 |
| ● | 11/11回 | | ● 7/7回 | | | |
| ● | 11/11回 | | 7/7回 | | | |
| ● | 11/11回 | | 7/7回 | | | |
| ● | 11/11回 | 13/13回 | | 12/12回 | 1/1回 | 1/1回 |
| ● | 11/11回 | 13/13回 | | 12/12回 | 1/1回 | 1/1回 |
| ● | 11/11回 | ● 13/13回 | | | | |
| ● | 11/11回 | 13/13回 | | | | |
| ● | 11/11回 | 13/13回 | | | | |

(※1) 2022年6月17日就任以降の出席状況を記載しています。

(※2) 指名・報酬委員会の構成員は、上記4名に会長の竹中裕紀を加えた5名となります。

次世代経営幹部育成の方針

次世代経営幹部の育成については、2020年度より幹部職制度を新たに制定し、幹部職社員を次世代経営幹部候補層として位置づけ、役員トレーニングに参加させるとも

に幹部職社員を対象とした教育プログラムを整備することで、計画的な育成に努めていきます。

株主・投資家とのコミュニケーション

当社は、株主・投資家に対して適切なタイミングで情報開示を行うとともに、公平・正確・分かりやすい方法で情報開示を行っています。株主総会は、2023年6月15日に本社多目的ホールで開催されました。当日参加できない株主様のために、議決権電子行使プラットフォームを採用し、また、インターネット、スマートフォンなどによる議決権行使を可能としており、より開かれた環境の整備に努めています。招集通知は、迅速な情報提供の観点から、発送の1週間前までに当社ホームページおよびプラットフォームに掲載

しています。また、総会会場にお越しになれない株主様に配慮し、株主総会当日の様子は株主・投資家向けウェブサイト上でも公開しています。その他IRに関する活動として、アナリスト・機関投資家向けの定期説明会を本決算、中間決算発表後に開催し、説明会資料をウェブサイト上で公開しています。なお、対話において把握した株主の意見などは、必要に応じて取締役会、代表取締役社長、関係する取締役および部門へフィードバックし、情報の共有・活用を図っています。

株主・投資家情報の詳細はウェブサイトをご確認ください。
<https://www.ibiden.co.jp/ir/>

